

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	第10期 第2回所沢市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和2年8月31日(月)午後1時30分から午後3時15分まで
開 催 場 所	所沢市役所 8階 大会議室
出 席 者 の 氏 名	審議会委員 秋元 智子、小松 登志子、大川 敏彰、川崎 幹生、宮高 隆、 加藤 一博、齋藤 賢吾、本橋 伸一、山川 卓也、柿木 薫、 岡野 祥平、大場 理江、土田 昭美、村野 直美
欠 席 者 の 氏 名	
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	
議 題	(1) 本市におけるごみ減量方策の最優先課題について (2) その他
会 議 資 料	(1) 次第 (2) 委員名簿(資料1) (3) 審議会開催スケジュール(資料2) (4) 第1回審議会のご意見まとめ(資料3) (5) 「プラスチックごみ削減」について(資料4) (6) 「生ごみ減量」について(資料5) (7) 「ごみ有料化」について(資料6) (8) 家庭ごみの減量化に関する市民アンケート(資料7) (9) 所沢市廃棄物減量等推進審議会条例 (10) 第1回審議会会議録

担 当 部 課 名	環境ｸﾘｰﾝ部長 廣川 澄芳	環境ｸﾘｰﾝ部次長 大館 真哉
		環境ｸﾘｰﾝ部次長 一井 里映
	資源循環推進課	
	課 長 池田 淳	主 幹 森澤 律昭
	副主幹 村中 慎児	主 査 加藤 秀一
	主 査 佐藤 克範	主 査 飯塚 健
	主 任 井口 徳之	主 任 田中 綾華
	渡邊 尚子	
	東部ｸﾘｰﾝセンター所長	古澤 祐晴
	西部ｸﾘｰﾝセンター所長	深谷 康博
収集管理事務所所長	當摩 卓	
電話	環境ｸﾘｰﾝ部資源循環推進課 04-2998-9146	

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
会長	<p>次のとおり説明があった。 ○会議は原則公開とし、傍聴を認める。</p> <p>会長から挨拶があった。</p>
資源循環推進課 副主幹	配布資料の確認が行われた。
資源循環推進課 課長	<p>今後の審議会スケジュールおよび本日の次第について説明が行われた。</p> <p>引き続いて、議事（1）に入った。</p>
資源循環推進課 副主幹	議事の流れについて説明が行われた。
資源循環推進課 主任	<p>配布資料3について説明が行われた。 資料3「第1回審議会のご意見まとめ」</p>
資源循環推進課 主任	<p>配布資料4～5について説明が行われた。 資料4「「プラスチックごみ削減」について」 資料5「「生ごみ減量」について」</p>
資源循環推進課 主査	<p>配布資料6について説明が行われた。 資料6「「ごみ有料化」について」</p>
副会長	<p>「プラスチック資源循環戦略」や「SDGs」など環境施策全体が大きな転換点にきている時点で、ごみ有料化について審議を行うということはかなりごみ減量化に意欲的だと思います。また、新型コロナウイルスの影響かとは思いますが、家庭ごみが増加傾向にありますので、そのあたりも見据えていただければと思います。</p> <p>一方で、目標はごみ減量化を図ることですが、環境面の啓発も同時に行っていただきたいと思います。また、プラスチックごみにつ</p>

<p>委員</p>	<p>いては、リチウムイオン電池による火災も起きています。ごみ分別区分や将来を見据えた環境教育も含めて、ライフスタイルを転換していくように検討していただければと思います。</p> <p>生ごみ処理機器等奨励金が8月上旬で予算上限を迎えられたとのことですが、前年度の実績に基づいて予算を設定したため、上限を迎えられたのでしょうか。それとも、コロナウイルスの影響で家庭ごみが増えたため、上限を迎えられたのでしょうか。</p> <p>また、所沢市は「埼玉県西部地域まちづくり協議会」で狭山市、入間市、飯能市、日高市とともに広域の施策等を行っています。ごみ有料化については、周辺都市に取り残されることなく、先頭に立って進めていただければと思います。</p>
<p>資源循環推進課 副主幹</p>	<p>1点目につきましては、過年度の実績を参考に予算計上をしておりますが、8月で予算が上限を迎えることとなりました。コロナウイルスの影響かと思われるのですが、家庭から出る生ごみの処理を検討され、奨励金の申請をされるご家庭が増えたためと考えられます。</p> <p>2点目につきましては、所沢市の南側に隣接しております東大和市、東村山市、清瀬市、瑞穂町については既に有料化が行われており、40L袋1枚当たり80円程度となっております。一方で、埼玉県内では有料化があまり進んでいないように見受けられます。例えば、秩父市の広域組合ですと、35L袋1枚あたり35円となっております。もしごみ有料化を導入する、または導入を検討することとなりましたら、周辺4市（狭山市、入間市、飯能市、日高市）の状況を踏まえて方策案を検討していく必要があると考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>生ごみ処理機器の導入によるごみ減量効果について、調査された結果等がありますか。</p> <p>また、購入された生ごみ処理機器が継続して使用されているのか後追い調査された結果等がありますか。</p>
<p>資源循環推進課 副主幹</p>	<p>近年は、使用状況についての後追い調査を行っておりませんが、生ごみ処理機器の更新も交付対象としておりますので、2台目以降の購入等のフォローアップはさせていただいております。</p> <p>減量効果については、1日当たり400gの削減効果を想定してお</p>

<p>委員</p>	<p>り、年間 1,460t 程度削減効果があるとの試算はさせていただいております。</p> <p>ごみ減量のためには、家庭による生ごみの処理を継続することが大事かと思えます。生ごみ処理機器の使用方法や、問題が発生した場合の対応策等のフォローアップもしていただければと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>ごみ袋の有料化によって、分別意識が非常に上がる傾向にあるかと思えます。ごみ袋を有料化する場合、ごみ袋の生産コストを含め、費用対効果を見る必要があるかと思えます。ごみ有料化について課題もあるかと思えますが、進めていくべきだと思えます。</p> <p>ごみ収集事業者として、最近はごみ量が増加している傾向にあると感じております。また、分別がされていないごみも多くあり、リチウムイオン電池による火災も起きております。収集の現場等でも難しい問題も起きておりますので、ごみの分別精度向上を目的としたごみ有料化も進めていただければと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>ごみ有料化についてご意見が出ておりますが、ごみ有料化では、市民の方々が費用を負担しなければなりません。市民代表の方々にもご意見をお聞きしたいと思えます。</p> <p>その前に質問なのですが、周辺のごみ有料化を実施している自治体はどのような理由でごみ有料化を導入されたのでしょうか。例えば、税収が低くごみ処理費用が不足しているのか、ごみ処理施設の焼却能力に限界が来ており早急なごみ減量化が必要なのか、それとも所沢市と同様に将来のごみ減量化施策として導入されているのでしょうか。</p> <p>また、ごみ有料化のデメリットは住民の費用負担の他にどのようなことがあるのでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課 副主幹</p>	<p>1点目のごみ有料化の理由としましては、ごみの減量化や資源化を目的として導入されている自治体が多いように感じております。最近では、東久留米市や国立市がごみ有料化を導入されておりますが、2市ともごみ減量及び資源化を目的として検討されたと聞き及んでおります。</p> <p>2点目のごみ有料化のデメリットとしましては、会長がおっしゃられた費用負担の他に、不法投棄の増加や不分別の放置ごみの増</p>

<p>委員</p>	<p>加、無料のごみ袋の中に有料の分別項目のごみが混入されるなどのデメリットがあると聞いております。</p> <p>東京都の方では住宅の前にごみを出し、適正に分別されていないごみが回収されなかった場合は個々の責任というようなところもあると聞いたことがあります。ですが、ごみ集積所にごみを出すと、回収されなかった放置ごみは清掃当番の住民が次の収集日に出さないといけなくなります。</p> <p>ごみ有料化に伴う費用負担よりも分別等が定着するまでのごみ集積所の管理の方が負担になるのではないかと感じます。</p>
<p>委員</p>	<p>ごみ袋に入れて出すと中身が見えないため、分別が混在してしまうのかと思います。</p> <p>他の地域では、ボックスに入れてごみを出しているところもあるので、ごみ袋に費用がかかり、ごみ有料化としても本当にごみ減量が推進されるのか疑問に感じます。</p> <p>また、金額的にはごみ袋1枚あたりの単価はあまり高価に感じないのですが、生活状況によっては負担を感じる住民の方がいらっしゃる可能性もありますので、考慮が必要かと思います。</p> <p>また、ごみを排出されることが論点になっているのですが、ごみが出る前の梱包の段階で、行政から過剰梱包についての指導を行って発生量を減らすことはできないのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>国の動きとして、プラスチックごみの分別区分を新たに設けるようにという話がありますけれども、ごみ袋が有料になるだけでごみ減量への意識が高まるかと思います。また、ごみ袋を有料化することで、分別を細分化し、分別しやすくすることもでき、ごみの資源化も進めていけると思います。そのため、ごみ有料化を進めていくことは重要なことかと思います。ただし、コロナウイルスの影響もあり、市民がどれだけ費用を負担できるかは状況を見て、経済効果等も考慮し、時期については検討していただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>リユース食器については、借りた団体が洗って返却するのでしょうか。また、現在のコロナ禍の状況で、リユース食器を借りた団体が洗って返却するというような運用方法には懸念があります。</p>

資源循環推進課 副主幹	<p>リユース食器の運用方法としましては、借りた団体に軽く洗って返却していただき、業者で改めて洗浄するという運用を考えております。</p> <p>また、実施時期については、今年度の実施予定は考えておらず、次年度以降の実施を考えております。コロナウイルスが終息、あるいは落ち着き、イベントが実施できるような状況になってからリユース食器の貸し出しも実施していけたらと考えております。</p>
委員	<p>ごみ有料化によって、市民の方に費用負担をお願いすると税金の二重取りにはならないのでしょうか。そのあたりはどのように考えたらよいのでしょうか。</p>
資源循環推進課 副主幹	<p>現在審議会でごみ減量方策について検討を進めさせていただいている段階であるため、税金関係につきましては研究中です。この場での回答を控えさせていただきます。</p>
資源循環推進課 課長	<p>補足させていただきます。下水道の受益者負担金等の考え方がある中で、ごみを少量出す人と多量に出す人が同様の扱いで良いのかという議論もあります。その議論から、ごみ有料化を実施されている自治体においては合法と判断され、進められているかと思えます。</p> <p>ただし、詳細については現在審議会にてごみ減量方策について提案させていただいている段階であります。詳細の設計や検討については、ごみ減量方策としてごみ有料化を実施することを検討することとなってから行うものをご理解いただければ幸いです。</p>
委員	<p>今の回答ですと、税金の二重取りに関しては論点が異なるかと思えますので、ご確認いただきたいと思います。</p>
資源循環推進課 課長	<p>繰り返しになりますが、現時点でごみ有料化が所沢市におけるごみ減量方策として適正かどうかを検討いただいている段階です。審議会にてごみ減量方策としてごみ有料化の実施を検討するようにご意見を頂戴いたしましたら、税金の二重取りや排出量による不公平感等の意見の洗い出しを行い、市民の皆様に提示していくというような作業になっていくかと思えます。</p>

会長	<p>国では、プラスチックの一括回収等の方針が議論されていることかと思いますが、ご説明いただけないでしょうか。</p>
委員	<p>9月1日（火）にプラスチック一括回収等に関する審議会が行われることになっており、そちらで詳しい議論がされると思います。</p>
会長	<p>前回までの国の審議会ではどのような方向性で審議がされているのでしょうか。</p>
委員	<p>意見の聴取や問題点の整理等がされており、国が方針のたたき台を作成し、それに対して意見をいただいております。資料から読み取れる国の方針としましては、現在の容器包装リサイクルのプラスチックと製品のプラスチックについて、一体的に処理を行っていくことが効率的にも処理技術的にもよいのではないかとこのことであり、これに対して反論等はなかったと聞いております。今後どのような議論がなされていくかは注視していきたいと思っております。</p>
会長	<p>プラスチックについては、様々な観点から環境省も方向性を議論されているとのことで、プラスチックの減量や処理方法、回収方法は今後変わってくる可能性があるかと思えます。所沢市では、容器包装プラスチックを分別しているかと思えますが、行政によって分別区分等も異なります。今後の国の動向もあるため、ごみ減量方策としての「プラスチックごみ削減」は現時点では議論を保留しておいた方が良いかと考えております。</p> <p>そのため、「生ごみ減量」や「ごみ有料化」について議論していければと思います。特に、ごみは重量で判断するため、水分を含んだ生ごみは重くなってしまい、その分排出量が増えてしまいます。できれば水切りや乾燥を行い、排出することが良いかと思うのですが、なかなか市民の方々ができないということもあるかと思えます。</p>
委員	<p>小学校で出前講座を行ったところ、出前講座の実施前後で食べ残しが2.2%減少したとご説明いただきました。これは前後1ヶ月だけではなく、継続して減少されているのでしょうか。</p> <p>また、県も最近プラスチックごみ削減を目指して、マイバッグやマイボトルを推進しております。数年前にも厳しく推進している時</p>

	<p>期もあり、本当に必要なことであれば継続的に行う必要があるかと思ひます。</p> <p>最近の状況を見ていると、プラスチックごみを削減することが全体的なように、省エネ等の他にやるべきこともあるのではないかと感じます。何のためにごみ減量が必要なかが重要かと思ひます。また、私たちが適正に排出するプラスチックと海洋プラスチックは違うかと思ひますので、実施するプラスチック削減施策によって本当に身近なプラスチックごみが減るのかをよく考える必要があるかと思ひます。そのように考えますと、啓発が一番重要なのではないかと感じます。</p>
会長	<p>ごみ減量のためには啓発は非常に重要かと思ひます。</p>
委員	<p>ごみ有料化を実施するとごみは減るかと思ひますが、それでいいのかと感ずるところがあります。まず市民への意識改革のための啓発があつてからではないかと思ひます。資料の中で、市民への周知・啓発は効果の測定が難しいとあります。しかし、難しいから行わないのではなく、周知・啓発があつて、その上でやむを得ずごみ有料化を実施するというような流れが無いと市民の納得も得られないと思ひます。したがつて、周知・啓発に重きを置き、その上でごみ減量方策を組み合わせて行つていくという必要があると思ひます。</p>
会長	<p>レジ袋の削減等によつて、消費者の意識はどのように変わつていくように感ずますか。</p>
委員	<p>スーパーやコンビニを見ていると、マイバッグを持ってくる人が多くなつてきていると感ずております。</p> <p>ごみ有料化を実施すると税金の二重取りになる可能性があるという議論があることを知りませんでした。他の自治体では、ごみ有料化と税金の二重取りにどのような整合性をつけているか情報を収集して、市民から質疑があつた場合にすぐに回答が出来る様にしていただきたいと思ひます。</p>
委員	<p>ごみ有料化に伴う指定袋について、ごみの排出量も考慮する必要があるかと思ひますが、通常生ごみは週何回くらい出されるので</p>

	<p>しょうか。ごみ有料化となると、一般的に各家庭でごみを出すのにひと月いくらかかるか計算するかと思います。また、ごみの出し方も各家庭の前に置く等のお話もありましたが、回収されなかったごみはどのような対応とするか等も考える必要があるかと思います。ごみ有料化については、指定袋の金額だけではなく、全体的にある程度徹底した考えに基づいてやる必要があるかと思いますので、一回で決定するのは難しいかと思います。また、住宅形態によっても出し方が違うと思いますので、実施に伴い排出方法も変更となった場合は、ルール of 徹底が必要となると思います。その場合の不分別による放置ごみやごみ当番はどうなるのかも検討する必要があるかと思います。ごみ袋の原価がいくらと考えるのではなく、ごみ処理費用がいくらなのかを考えて、検討していただければと思います。ごみ有料化については大いに賛成ですが、形状や金額などは、委員の皆様の意見を聞きながらよく検討していきたいです。</p> <p>また、リユース食器の貸し出しの範囲はどの程度までをお考えなのでしょう。また、生ごみ処理機器の奨励金についても予算を超過してしまうと以降は交付できない状況となっておりますので、これらの施策に限らず全体として、財政の収入と支出を考慮して施策等を検討していければと考えております。</p>
会長	<p>生ごみの減量化について、市からは生ごみの家庭での水切り等を啓発されておりますが、実際にはいかがですか。現実的に市民の皆様ができるものなのかいかがお考えでしょうか。</p>
委員	<p>あまり水切りはできておりません。</p>
委員	<p>水切りはしておりますが、それでも水分が出てしまいます。生ごみと一緒に紙等のごみも袋に入れてあります。</p> <p>仮にごみ袋を40L袋1枚当たり80円とした場合、週2回40L袋で1袋ずつごみを出すとする、月640円、年間7,680円の費用負担がかかります。一人暮らしで40L袋いっぱいに入れられない可能性が十二分にありますし、夏場等ごみの腐敗を考慮して、家庭内でごみを溜めておけないことを考えると40L袋で良いのかということも考えていく必要があるかと思います。また、袋の費用が一人暮らしの年金受給者の方等にとって負担にならないかも考えていかなければならないと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>地域によっては 20L 袋を売っている地域もありますので、袋の容量などはこれから検討されていくことかと思えます。</p> <p>地域によっては、ごみ袋に名前を書いて出す地域もあります。名前を書くことによって、自らが出したごみに責任を持つというような意識が生まれるかと思うのですが、市はどのようにお考えでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課 副主幹</p>	<p>ごみ有料化については検討を始めたばかりですので、審議の中でご意見をいただければと考えております。</p> <p>ごみ指定袋に名前を記載することや袋の容量やデザインについては、今回いただいたご意見も含めて今後様々な点について検討していく必要があるかと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>ごみ袋への名前の記入は、ごみ有料化の袋に対して行っているのでしょうか。自治体によっては、ごみ有料化は実施していないけれどもごみ袋に名前を記入するようにしている自治体もあるらしいので、ごみ減量の一つの方策にもなるかと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>小学校への出前講座によって給食の食べ残しが減少したとのことでしたが、子供たちに食べ残ししないよう、強制することにならないようにしていただくようお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>なぜ有料化を考えないといけないのかというところの整理なのですが、財政的にひっ迫しているわけではなく、ごみ減量の方策の一つという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>また、公平性の確保については方法が複数あり、例えば無料で 1 週間に 2 枚配布し、超過分は有料にする等の方策があるかと思えます。</p> <p>今回審議する事項としては、ごみ有料化が減量する方策として適しているかどうかということでもよろしいでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>ごみ減量化の手段としてごみ有料化が適しているかどうか今回の議論だったかと思えます。消去法でいきますと、プラスチックごみ減量は今後国の方向性がどう変わっていくかがわからない、また生ごみは水切り等が難しいというところなので、ごみ有料化の方</p>

	<p>向になっていくのではないかという意見かと思えます。ごみ有料化によってごみ減量できるというようなファクト的なお話もありました。ただ、現状生ごみと紙と一緒に入っているとのお話もありましたので、まず組成調査を行って、組成を把握したうえで、事実に基づいてごみ有料化による減量効果などを検討していく必要があるかと思えます。現在はコロナ禍にありますので、組成調査の実施も難しいかと思えますし、組成も平常時と異なる可能性もあります。来年度以降に組成調査を行って、減量効果等を検討された方が良いかと思えます。ですので、すぐにごみ有料化ありきではなく、調査や検討の期間が必要かと思えます。</p> <p>引き続いて議事（２）「その他」に入りたいと思えます。</p>
<p>資源循環推進課 副主幹</p>	<p>本審議会と並行し、無作為に抽出しました市民の皆様約 3,500 人を対象としまして、家庭ごみ減量についてアンケートを実施する予定です。内容といたしましては、ごみ減量に対する市民意識の調査や本日も説明いたしました 3 つの施策を中心とした減量への取り組み、状況等についてお尋ねするものでございます。アンケートの送付につきましては、9 月 10 日（木）頃、回答締切は 9 月 25 日（金）頃を想定しております。アンケートの回答結果につきましては、第 3 回の審議会にてご報告させていただきたいと考えておりますので、ご一読いただければと思えます。</p> <p>続きまして次回の日程等について、改めてご連絡させていただきたいと思えます。第 3 回の審議内容につきましては、スケジュールの通り、重点施策の具体的な方策についてご審議いただきたいと思います。日程は 11 月を予定しておりますが、正・副会長と調整したうえで、改めてご案内を差し上げたいと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>アンケートについては、意見を受け付ける期間はありますか。</p>
<p>資源循環推進課 副主幹</p>	<p>アンケートは 9 月 10 日（木）頃郵送予定で、既に手続きを進めております。ご意見を頂戴したいのですが、そのお時間を確保できず申し訳ありません。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケートの回収効果を高めるため、回答された方に抽選で所沢ブランドの物品を配布されてはいかがでしょうか。</p>

<p>会長</p>	<p>何か物品がもらえると回収率が上がるかもしれないです。 さて、今回のアンケートは、何年ぶりのアンケートになるのでしょうか。また、設問内容については、以前のアンケートから大幅に変更されたのでしょうか、それとも設問内容は変更せず定点調査のようなものなのでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>アンケートでございますが、前回の審議会まででいただいたご意見をふまえて、新たに作成したものになります。基本計画改定時等に定期的に行っているものではありません。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケートの配布地域はどのあたりになるのでしょうか。</p>
<p>資源循環推進課 副主幹</p>	<p>今回は所沢市全域において無作為抽出でアンケートを配布いたしますので、地域は限定しておりません。</p>
<p>委員</p>	<p>今回ごみ有料化を実施されている東京都、埼玉県内の自治体を色分けした地図を提示していただきました。今後の資料作成に関してのお願いなのですが、ごみ減量の効果の有無やごみ排出量を比較できるような資料も提示していただければ幸いです。</p>
<p>資源循環推進課 課長</p>	<p>今回の審議会ではごみ減量方策として3つの方策についてご説明させていただき、ご意見を頂戴しました。次回の審議会では現在所沢市では実施していないごみ有料化について掘り下げて、ご要望をいただいた資料を作成し、ご審議していただくというような方針でよろしいでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>その方針でよろしいでしょうか。 皆さんに頷いていただきましたので、ご説明いただいた方針でお願いいたします。それでは、本日の議題は全て終了しましたので、最後に副会長にまとめていただいて終わりにしたいと思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>皆様お疲れ様でした。ごみ有料化という非常に重いテーマについて議論をしていくということで、ごみ有料化を実施する、しないにしても市民の皆様が納得いただけるような議論をしていかなければならないと感じました。例えば、行政コスト、財政状況、環境問</p>

<p>会長</p> <p>資源循環推進課 副主幹</p>	<p>題や環境教育等、幅広い様々な切り口の中で有料化を実施するとどのような点を見据えなければならないのか考えていかなければならないかと思います。現場の収集業者の方々の苦労も今まで以上に厳しくなっているかと思いますので、多角的な議論が出来る様に事務局に資料を揃えていただければと思います。</p> <p>ありがとうございました。全く同意見です。 では事務局にお返ししたいと思います。</p> <p>長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。 これにて第2回廃棄物減量等推進審議会を閉会したいと思います。</p>
----------------------------------	--